

2020年東京オリンピック・パラリンピック千葉市プロジェクト推進基本方針の改定に向けて

1 幕張メッセが2020年東京オリンピックの3競技の会場となったことの影響について

(1)大会成功のため、関係機関と連携した大会準備

- ・大会成功のため、関係者の総力を結集しての対応が求められる
⇒大会準備(大会成功のため、会場周辺の受入れ環境や安全・安心の確保に関係機関と連携して対応する)
スポーツ振興(3競技の普及促進)
- ・準備にあたっては、コストを意識し市民の財産として価値あるレガシーを残す

(2)競技会場都市として、千葉市の多彩な魅力をアピールするとともに、しっかりとしたレガシーを築ける絶好の機会

(3)事前キャンプ受入れの可能性の検討

- ①本大会における練習会場施設・機材等の準備 ⇒ 千葉ポートアリーナが指定練習会場になる可能性があり、指定された場合事前キャンプとして使用不可
 - ②世界各国から、オリンピック関係など来訪者の増大 ⇒ 大会関係者の宿泊が優先
- ⇒大会直前や大会期間中、練習会場・宿泊施設は、本大会のために最優先利用 ⇒事前キャンプへの施設優先確保が困難

2 基本方針の改定に向けて

※「千葉市プロジェクト推進基本方針」では、「関係機関等が準備を進めていく中で、この方針に変更が必要となったときは、適宜変更するもの」としている。

①「千葉市プロジェクト推進基本方針」について、幕張メッセが本大会の会場となったことから、競技会場都市としての取組指針を以下のとおりとし、今後基本方針及び行動計画の見直しを、今年度内に行う。

② 改定の考え方は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を成功に導けるよう、基本方針の中に、「競技会場都市としてふさわしい環境の整備」、「大会機運の醸成」、「来訪者へのおもてなし力の向上と千葉市の魅力のPR」、「オリンピック開催を契機とした将来的なまちづくり」を取組指針として明示するとともに、今後既存の4つの方向性にもその内反映させていくもの。

